

【水淹预测区域地图是指】

【浸水ハザードマップとは】

「平成21年7月中国・九州北部豪雨」では、博多観測所(福岡空港)で1時間に116mmの記録的な雨が降り、河川のはん濫による浸水想定区域以外の範囲でも下水道や側溝などからの浸水被害(内水被害)が発生しました。

このマップは、福岡県が公表した「河川からの浸水想定区域(外水被害)」と、福岡市が作成した「平成21年7月豪雨の浸水実績にもとづいた浸水想定区域」を重ねて表示することにより、内水被害を含めた浸水への注意を、市民のみならず、よりいっそう呼びかけるものです。

河川からの浸水想定区域 …(例)中央区版

那珂川が、おおむね100年に1回程度起こる大雨(24時間総雨量328mm)によりはん濫した場合および樋井川が、おおむね70年に1回程度起こる大雨(12時間総雨量256mm)により、はん濫した場合想定される浸水の状況を、福岡県がシミュレーションにより求めたものです。

想定される水深を色別であらわしています。水深の目安は次のとおりです。

【凡例】	
浸水した場合に想定される水深	
2.0～3.0mの区域	▽3.0m(2階の床までつかる程度)
1.0～2.0mの区域	▽2.0m(1階の軒下までつかる程度)
0.5～1.0mの区域	▽1.0m(1階部分でほとんどの腰までつかる程度)
0.5m未満の区域	▽0.5m(大人の膝までつかる程度)



平成21年7月豪雨の浸水実績にもとづいた浸水想定区域

//// は、福岡市の平成21年7月豪雨の浸水実績調査にもとづき、浸水が想定される範囲を示したものです。また、一部の地域については、水害に関するワークショップなど住民の方々の情報・意見を踏まえて範囲を定めています。水深は、おおむね大人のひざ下(45cm)程度を想定しています。

雨の降り方によって浸水の状況が変わるため、このマップで示した以外の場所も浸水する可能性がありますので、十分ご注意ください。

【图例】

发生水淹时的预测水深

	2.0～3.0m区域
	1.0～2.0m区域
	0.5～1.0m区域
	0.5m以下区域

“2009年7月中国・九州北部大暴雨”的时候，博多观测站（福岡机场）的降雨量达到每小时116毫米，打破了历史记录。由于河流泛滥，水淹预测区域以外的地区也发生了下水道和侧沟泛滥所带来的水淹灾害（内水灾害）。

本地图通过同时反映福岡县公布的“河流泛滥水淹预测区域（外水灾害）”和福岡市公布的“根据2009年7月大暴雨的水淹实际情况制定的水淹预测区域”，向各位市民进一步呼吁要注意包括内水灾害在内的水淹。

河流泛滥水淹预测区域

那珂川大约每100年发生一次由于大雨(24小时总降雨量328毫米)引起的泛滥。樋井川大约每70年发生一次由于大雨(12小时总降雨量256毫米)引起的泛滥。假设发生上述河流泛滥，根据福岡县的测算，预测了水淹状况。

地图用不同颜色分别标注了预测水深。水深的标注如下。

根据2009年7月大暴雨的实际水淹程度预测的水淹区域

 根据福岡市2009年7月大暴雨的实际水淹调查，标识了水淹预测范围。此外，通过召开有关水害的研讨会等听取居民各方信息和意见，确定了部分地区的水淹范围。水深约为成人的膝盖以下(45cm)。

根据下雨的状况，水淹状况会发生变化，所以本地图未标识的区域也有可能发生水淹灾害，请引起注意。

▽3.0m (淹没到2楼地板)

▽2.0m (淹没到1楼屋檐)

▽1.0m (淹没到站在1楼的成人的腰部)

▽0.5m (淹没到成人膝盖部位)